

Nextcloudの移行の手順

1 移行前の状況

(1) 移行元

- ・ サーバー msk02@s2002.coreserver.jp
- ・ サブドメイン family-cloud.msknoby.com

(2) 転送先

- ・ サーバー shv7q2yl1wwzz@v2006.coreserver.jp
- ・ サブドメイン family-cloud.laboknoby.com

2 移行元の作業（v2002での準備）

(1) Next-cloudのメンテナンスモードを有効にする →config/config.php

(2) データベースのバックアップ（エクスポート）

- phpMyAdmin にログイン
- データベース名を選択
- エクスポートタブ .sql ファイル

(3) FTPアカウントを作成及び確認

- アカウント名 msk02
- パスワード契約情報を参照
- ホスト名 v2002.coreserver.jp

3 移行先の作業（v2006）

(1) サブドメインの作成及びSSLの取得

(2) MySQLデータベースの作成

- ・ データベース名
- ・ ユーザー名
- ・ パスワード

(3) ファイルデータの丸ごと移動 方法は3通り

- ①FTPでPCにダウンロードし、FTPで移行先のフォルダにコピー
- ②Zipファイルを作成 FTPでダウンロード 移行先フォルダにコピー後 解凍
- ③サーバー間コピーの実行（ファイルの移行）

移行先（v2006）のコントロールパネルから、データを引っ張ってきます。

1. 移行先（v2006）のコントロールパネルにログインし、[「ツール」 > 「サーバー間コピー」](#)に進みます

2. 「サーバー間コピーを新規作成」をクリックし、以下のように入力します。

- **ローカル（移行先）** : family-cloud.laboknoby.com の公開ディレクトリ（例: /public_html/family-cloud.laboknoby.com 等）
- **転送方式**: FTP
- **リモートホスト（移行元）** : v2002.coreserver.jp
- **リモートユーザー**: 事前準備で作成したサブFTPのユーザー名
- **リモートパスワード**: 設定したFTPのパスワード
- **リモートディレクトリ**: 空欄、またはNextcloudがインストールされているディレクトリ（通常は / または /public_html など状況に合わせて指定）

3. 作成後、一覧画面から **「実行」アイコン** をクリックして同期を開始します。

(4) データベースの移行（インポート）

1. **移行先（v2006）** のコントロールパネルで、Nextcloud用の**新しいデータベース（MySQL）とユーザー**を作成し、接続情報（DB名、DBユーザー名、パスワード）を控えます。
2. 新しいデータベースの **phpMyAdmin** にログインします。
3. **「インポート」** タブから、事前準備でダウンロードしておいた .sql ファイルを選択して実行します。

(5) Nextcloud設定ファイル（config.php）の修正

- 'trusted_domains' の項目にある旧ドメインを family-cloud.laboknoby.com に変更。
- 'overwrite.cli.url' のURLを https://laboknoby.com に変更。
- データベースの接続情報（'dbname', 'dbuser', 'dbpassword', 'dbhost'）を、**ステップ2で作成した新しい情報**に書き換え。

【NextCloudのエラー対策】

エラーその1. PHPのメモリー制限

原因： PHPが使えるメモリがNextcloudの推奨値（512MB）より低いため。

対策： Nextcloudの最上位ディレクトリにある .htaccess ファイルに追記します。

1. ファイルマネージャー等で .htaccess をテキストエディタで開きます。
2. ファイルの最下部（または適切な場所）に、以下のコードを追記して保存します。

PHPのメモリ制限を512MBに引き上げる

```
php_value memory_limit 512M
```

なお、コアサーバーのPHP設定にて設定項目があるのですが、設定しても効果はなく解消できませんでした。

警告その1. .well-known URLs & HTTP ヘッダー

対策： Nextcloudの最上位ディレクトリにある .htaccess ファイルに追記します。

1. ファイルマネージャー等で .htaccess をテキストエディタで開きます。
2. IfModule mod_rewrite.c のブロック内に、以下を追記します。

```
<IfModule mod_rewrite.c>
```

```
    RewriteEngine on
```

```
    # .well-knownのリダイレクト設定
```

```
    # ブラウザがドメイン直下の/.well-known/を探しに来た際、
```

```
    # 自動的に /cloud/ フォルダ内のNextcloudへ誘導します。
```

```
    RewriteRule ^\.well-known/webfinger /cloud/index.php/.well-known/  
webfinger [R=301,L]
```

```
    RewriteRule ^\.well-known/nodeinfo /cloud/index.php/.well-known/  
nodeinfo [R=301,L]
```

```
</IfModule>
```

警告その2 メンテナンスウィンドウ開始

原因： 重い定期処理（Cron）を「何時に実行するか」が決まっていないため。

対策： Nextcloudの config.php に設定を追記します。

1. ファイルマネージャーやFTPで、Nextcloudの設置ディレクトリにある config/config.php を編集します。
2. 配列 (\$CONFIG = array (...);) の中に、以下の行を追加します。

`'maintenance_window_start' => 1,`

※ 1 は「午前1時～5時の間に重い処理を行う」という意味です（ユーザーが少ない時間帯を推奨）。

警告その3. Mimetypeの移行が可能

1つ以上のmimetypeマイグレーションが利用できます。時折、特定のファイルタイプをよりよく扱うために新しいmimetypesが追加されます。大規模なインスタンスではmimetypesの移行に時間がかかるため、アップグレード時には自動的に行われません。移行を行うには`occ maintenance:repair --include-expensive` コマンドを使用してください。

原因：新しいファイル形式に対応するためのデータベース更新を行っていないため。

対策：本来はSSHでログインして occ コマンドを叩く必要があります。

1. SSHログインしてNextcloudのディレクトリに移動し、警告文にある通り以下のコマンドを実行します。SSHでログイン後 NEXTCLOUDを入れているフォルダに移動して以下を実行

```
php occ maintenance:repair --include-expensive
```

警告その4. IfModule mod_headers.c のブロック内に、以下を追記して保存します。

インスタンスの一部のヘッダーが正しく設定されていません - `Strict-Transport-Security` HTTPヘッダーが設定されていません（少なくとも`15552000` 秒に設定する必要があります）。セキュリティを強化するために、HSTSを有効にすることを推奨します。詳細については、ドキュメント⁷を参照してください。# HSTSの設定（ドメイン全体に適用）

```
<IfModule mod_headers.c>
```

```
Header always set Strict-Transport-Security "max-age=15552000; includeSubDomains"
```

```
</IfModule>
```

警告その5.オプションのインデックス欠落

いくつかの欠落しているオプションのインデックスを検出しました。データベースのパフォーマンスを向上させるために、（Nextcloudまたはインストールされたアプリケーションによって）新しいインデックスが追加されることがあります。インデックスの追加には時間がかかり、一時的にパフォーマンスが低下することがあるため、アップグレード時には自動的には行われません。インデックスが追加されると、それらのテーブルへのクエリが速くなるはずです。インデックスを追加するには、`occ db:add-missing-indices` コマンドを使用してください。

php occ db:add-missing-indices

5インデックスが不足: "systag_objecttype" テーブル内の "systemtag_object_mapping", "unique_category_per_user" テーブル内の "vcategory", "cards_prop_abid_name_value" テーブル内の "cards_properties" 詳細については、[ドキュメント](#)を参照してください。